

2024年9月12日

各位

会社名 株式会社シャノン  
代表者名 代表取締役社長 中村 健一郎  
(証券コード:3976 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 CFO 兼経営管理本部長 友清学  
(電話番号:03-6743-1551)

### 2024年10月期 第3四半期決算について想定されるご質問に対する回答

本資料は、2024年9月12日に公表した2024年10月期 第3四半期決算について、想定されるご質問に対する回答を皆様にご参考として開示するものです。

Q1	期末に減損を行う可能性はありますか？
A1	<p>メタバース事業に関係する株式会社ジクウ分のソフトウェア資産は、2023年10月期に一部減損を行っています(2023年9月11日開示「子会社における損失(固定資産の減損損失)の計上及び2023年10月期通期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」)。</p> <p><a href="https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03657/5f319146/d421/4d10/b49d/850e777aa581/140120230911553014.pdf">https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03657/5f319146/d421/4d10/b49d/850e777aa581/140120230911553014.pdf</a></p> <p>メタバース事業に関しては、当期の予算達成は困難な状況であることから、来期以降の計画次第では追加の減損計上を行う可能性はあります。</p>
Q2	主力事業のサブスクリプション事業の来期(2025年10月期)の見通しについて教えてください。
A2	<p>サブスクリプション売上は、2024年10月期に新規獲得した新規MRRが2025年10月期の収益貢献をすること、1年契約であるサービスの更新率が想定範囲内に収まっているかどうか一つの指標となります。</p> <p>2024年10月期の新規MRRの獲得状況は第3四半期時点では順調に推移しております(第3四半期累計獲得金額は過去最高)。また、解約率も、想定範囲内に収まっていることから、2025年10月期のサブスクリプション売上は順調に増加するものと考えています。</p>

Q3	今期は「収益性重視」と資料に書かれているが、実際に収益は改善しているのか？	
A3	セグメント損益については、第3四半期時点で広告事業を除く3事業について大きく改善をしております。主力事業であるサブスクリプション事業、イベントクラウド事業について、前年同期比でそれぞれ80百万円、22百万円と大きく改善をしております。これらのことから、今期の方針が成果として表れ始めていると認識しております。	
	サブスクリプション事業	イベントクラウド事業
セグメント損益	132百万円	8百万円
前年同期セグメント損益	51百万円	△14百万円
<b>改善額</b>	<b>80百万円</b>	<b>22百万円</b>

各種 IR ライブラリー資料はこちら

<https://www.shanon.co.jp/ir/library/index.html>

- 本発表において提供される情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking- statements)」を含みます。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動等、一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 投資判断を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。